

「優秀公害防止装置」として表彰 環境にやさしく効率化も促進

株式会社櫻製作所

<http://www.sakuraseisakusho.co.jp/>

関西
20



ハイエバオレーター

Company Profile

株式会社櫻製作所

住 所／〒532-0022
大阪市淀川区野中南
2-7-12

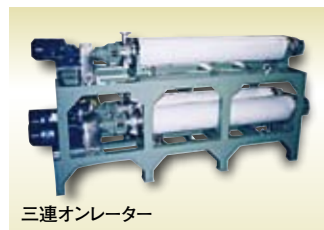
創 業／昭和21年
設 立／昭和27年6月
資本金／3,200万円
従業員／35名
T E L／06-6302-5321
F A X／06-6302-5320

■主な事業内容

産業機械、環境装置のシステムエンジニアリング等

■主な取引先

食品会社、化学会社、化粧品会社、プラントエンジニア会社、薬品会社等



三連オンレーター

当社のセールスポイント

失敗を恐れず
徹底的に生かして
あくなきチャレンジを。



社長
井上 理文さん

研究開発をしていく中で、失敗を恐れないことが大事です。何度か失敗をしたとしても、その失敗を徹底的に生かすことが大切。そこから、オリジナリティと新たなパワーが生まれます。また、たとえ上手くいってもうぬぼれず、あたりまえと喜ぶ気持ちを持つこと。ものづくりに必要なのは、チャレンジ精神と謙虚な姿勢です。



ハイエバオレーター全景

食生活の改善に貢献した 創業商品「オンレーター」

櫻製作所は、粘性体の混合・攪拌・反応・熱交換を行う機械をはじめとして、独自のジャンルを開拓した先端技術を有する会社である。設立当初から、食品・ケミカル関連業界でも需要の高い「オンレーター」は、2900台の納入実績を持つ。「オンレーター」は、マーガリン等の粘度のあるものの攪拌や混練、加熱冷却等の熱交換を行う機械である。粘度が高いものの熱交換を行うにあたって焦げ付いたり、固まったりするのを防ぎ、効率よく熱交換を行うために、内部を掻取りながら混ぜていくのが特徴である。ロールで混練していた時代には、量にも限度があったが、「オンレーター」の開発で連続大量生産も可能になった。高い効率化や品質の安定化などで、食品業界に貢献した。「オンレーター」に原料を注入するための機材として生まれたのが「SSSポンプ」。吐出精度が高く±0.5%以内の再現性を持つ。誤差がほぼない定量を守れるのでより正確な注入が可能。このような機械から「オンレーター」以外の様々な用途に使用され、22000台の納入実績を誇る。

廃液中の有効成分を 再利用できるエコ製品

長年の研究開発の末、昭和54年に完成した「ハイエバオレーター」は、処理液を粉末化、または高濃縮スラリー化する薄膜蒸発式粉末化装置だ。従来、工場で出る廃液には、有効成分が含まれたまま処理されてきた。「ハイエバオレーター」を使うことで、粉末状にまで濃縮し有効成分だけを抽出することが実現。例えば塗装廃液では、塗料が濃縮し粉末化され、溶剤だけを回収、再利用できる。以前は釜で行っていたため、効率も悪く粉状にするのは不可能だった。自動化することで、効率化も計れシンナーの回収率が60%から90%前後にまで上がった。また塗料分は粉末なので臭いもな

く、取り扱いしやすいのも利点。この再利用というしくみや環境にもやさしいことが評価され、平成4年「第18回優秀公害防止装置」として表彰された。

「ハイエバオレーター」を使用し、味噌メーカーや研究機関などの共同開発により、生まれたのがフリーズドライの味噌汁だ。大豆の煮汁（廃液）に含まれた有効成分を抽出、再利用した。「今後も主力製品の用途が広がるよう技術力をもっとバージョンアップさせます。変化していくユーザーニーズに常に対応できるように、最先端技術を追求めます」と井上社長は語る。



「サンプル写真」
●塗装廃液(上・右)
●回収溶剤(上・左)
●塗料粉末(下・右)